

### 3) 地盤の状況

「令和6年における濃尾平野の地盤沈下の状況（令和7年9月、東海三県地盤沈下調査会）」によると、事業実施区域が位置する濃尾平野では昭和30年代以降著しい地盤沈下が発生していましたが、現在では濃尾平野中西部を除き、地盤沈下は沈静化しています。愛知県及び三重県における令和6年の水準点測量成果においては、事業実施区域内で年間1cm以上沈下した水準点はありませんでした。

なお、一宮市、津島市、稲沢市、愛西市、弥富市、あま市、蟹江町及び飛島村は「工業用水法」（昭和31年法律第146号）に基づく指定地域及び「県民の生活環境の保全等に関する条例」（平成15年3月25日愛知県条例第7号）に基づく規制区域に含まれ、地下水の使用に関する許可基準や揚水量報告の義務等が定められていますが、「建築物用地下水の採取の規制に関する法律」（昭和37年5月1日法律第100号）に基づく指定地域に含まれる市町村は存在していません。

### 4) 地盤沈下の状況

調査区域における地盤沈下の調査地点は図4-1-20に、調査結果は表4-1-64に示すとおりです。

令和6年度に愛知県内では217地点、三重県では25地点で調査が行われており、年間変動量は-0.63～0.50cm、累積変動量は-163.94～1.32cmとなっています。

表 4-1-64(1) 地盤沈下調査結果（令和6年度）

No.	県	市区町村	所在地	累積開始年	令和6年標高(m)	年間変動量(cm)	令和6年累積変動量(cm)	
1	愛知県	一宮市	一宮市中島通5丁目86-1番地先	昭和38年	9.6112	-0.30	-6.06	
2			一宮市今伊勢町馬寄字六地藏46-1	昭和46年	8.1576	-0.03	-6.65	
3			一宮市小信中島字南平口96番地の2	昭和47年	6.0831	-0.06	-8.07	
4			一宮市三条字宮西12番地の1	昭和47年	5.2575	-0.02	-6.69	
5			一宮市西萩原字中道26番地	昭和47年	5.6837	-0.02	-6.65	
6			一宮市明地字江端8番地	昭和47年	4.0739	0.24	-3.99	
7			一宮市上祖父江字道福辺30番地の1	昭和47年	4.0283	0.10	-6.17	
8			一宮市三条字芦山10-1	昭和53年	5.5437	-0.03	-9.33	
9			一宮市萩原町萩原字河原崎1544	昭和46年	4.7339	0.29	-9.12	
10			一宮市大和町荻安賀字川田46-2	昭和46年	5.9928	0.13	-9.86	
11			一宮市花池2丁目9番	昭和47年	7.1780	0.04	-4.07	
12			一宮市大和町南高井字宮腰92番地	昭和47年	4.4788	-0.13	-8.38	
13			—	—	—	—	-0.10	—
14			—	—	—	—	-0.10	—
15			—	—	—	—	-0.10	—
16			—	—	—	—	-0.10	—
17			—	—	—	—	0.10	—
18			—	—	—	—	0.00	—
19			—	—	—	—	-0.10	—
20			—	—	—	—	-0.10	—
21			—	—	—	—	-0.10	—
22			—	—	—	—	0.00	—
23			—	—	—	—	0.00	—
24			—	—	—	—	-0.30	—
25			—	—	—	—	-0.20	—

表 4-1-64(2) 地盤沈下調査結果 (令和 6 年度)

No.	県	市区町村	所在地	累積開始年	令和 6 年標高(m)	年間変動量(cm)	令和 6 年累積変動量(cm)	
26	愛知県	津島市	津島市申塚町 1 丁目 94-1	昭和 47 年	0.2443	-0.12	-37.42	
27			津島市宮川町 2 丁目 46	昭和 51 年	-0.8421	-0.12	-25.29	
28			津島市西柳原町 1 丁目 14-1	—	-0.3630	-0.14	-110.07	
29			津島市西愛宕町 1 丁目 75	—	-1.2442	-0.11	-36.33	
30			津島市立込町 2 丁目 21	昭和 52 年	-0.6920	-0.24	-19.32	
31			津島市立込町 2 丁目 60-3	昭和 47 年	-1.3409	-0.23	-38.90	
32			津島市埋田町 2 丁目 123-1	昭和 52 年	-1.4757	-0.26	-15.97	
33			津島市百町字北古農 68	昭和 47 年	-1.4236	-0.46	-47.36	
34			津島市中一色町市場 203	平成 2 年	-1.3992	-0.52	-68.98	
35			津島市鹿伏兎町西 20	昭和 47 年	-1.6670	-0.50	-56.26	
36			津島市莪原町字神守前 40	昭和 62 年	-0.9196	0.18	-32.81	
37			津島市神尾町字江西 61	昭和 50 年	-1.6138	0.16	-18.22	
38			—	—	—	—	-0.50	—
39		—	—	—	—	-0.20	—	
40		稲沢市	稲沢市祖父江町祖父江北方 170	昭和 47 年	3.2610	0.16	-11.20	
41			稲沢市祖父江町祖父江高熊 265-1	平成 11 年	4.2366	0.03	-14.33	
42			稲沢市祖父江町島本西同所 2213 番	平成 4 年	6.4937	-0.31	-20.12	
43			稲沢市祖父江町中牧堤外川 1649	昭和 47 年	5.2919	-0.13	-15.44	
44			稲沢市祖父江町桜方新江南 395-1	昭和 42 年	2.7677	-0.11	-44.60	
45			稲沢市祖父江町上牧宮前 387	—	3.3077	-0.01	-11.20	
46			稲沢市祖父江町上牧下川田 414-1	昭和 52 年	3.1974	-0.07	-7.81	
47			稲沢市平和町丸渕上 24	—	2.7175	0.11	-13.97	
48			稲沢市平和町法立東瀬古下 638	—	1.7967	0.09	-18.12	
49			稲沢市平和町西光坊大門北 810	—	1.8919	-0.01	-18.87	
50			稲沢市平和町六輪下起中 285	—	0.5537	-0.01	-26.50	
51			稲沢市木全 2 丁目 152 番地	—	5.2435	-0.02	-32.02	
52			稲沢市稲府町 1 番地	平成 7 年	4.0452	-0.05	-5.84	
53			稲沢市平野町 1 丁目 6 番地	—	3.6178	-0.21	-13.22	
54			稲沢市千代 3 丁目 2 番地先	—	2.8199	-0.08	-69.72	
55			稲沢市附島町屋敷 61 番地	昭和 51 年	1.7689	-0.04	-3.77	
56			稲沢市込野町郷中 13 番地先	昭和 27 年	1.7080	-0.04	-76.14	
57			稲沢市稲島東 3 丁目 111 番地先	昭和 47 年	5.4033	-0.03	-8.47	
58			稲沢市高御堂 1 丁目 22 番地の 8	昭和 47 年	5.1214	-0.02	-14.27	
59			稲沢市下津下町西 1 丁目 196 番地先	昭和 47 年	5.3016	-0.17	-5.70	
60			—	—	—	—	-0.30	—
61			—	—	—	—	-0.20	—
62			—	—	—	—	-0.30	—
63			—	—	—	—	0.20	—
64			—	—	—	—	0.30	—
65	—		—	—	—	0.20	—	
66	—		—	—	—	0.20	—	
67	—	—	—	—	0.00	—		
68	—	—	—	—	-0.30	—		
69	—	—	—	—	-0.20	—		

表 4-1-64(3) 地盤沈下調査結果（令和 6 年度）

No.	県	市区町村	所在地	累積開始年	令和 6 年 標高(m)	年間変動量 (cm)	令和 6 年 累積変動量(cm)	
70	愛知県	愛西市	愛西市江西町大縄場 151	昭和 52 年	3.5980	-0.59	-9.20	
71			愛西市江西町川原 11	昭和 47 年	2.8777	-0.63	-31.35	
72			愛西市大野山町海東 49	—	0.9585	-0.07	-25.68	
73			愛西市赤目町杉土居 77	昭和 47 年	0.6101	-0.55	-26.08	
74			愛西市草平町北田名 57	昭和 47 年	0.5234	-0.28	-37.00	
75			愛西市早尾町村北 12	昭和 47 年	0.1082	-0.30	-35.22	
76			愛西市町方町小山田 20	—	1.5196	-0.15	-32.63	
77			愛西市諏訪町池埋 500-1	昭和 52 年	-0.2414	-0.19	-14.00	
78			愛西市勝幡町大縄場 2820	昭和 47 年	0.2977	-0.14	-36.04	
79			愛西市持中町佐渡り 326-1	—	-0.2243	-0.10	-9.83	
80			愛西市北河田町郷前 406	平成 3 年	-0.1232	-0.16	-25.93	
81			愛西市新右エ門新田町郷前 649	昭和 62 年	-0.2190	-0.18	-12.14	
82			愛西市下一色町宮内 32-1	昭和 47 年	0.3872	-0.13	-44.89	
83			愛西市石田町宮東 68	昭和 52 年	-0.5444	-0.14	-21.43	
84			愛西市宮地町大縄場 135	昭和 47 年	1.8229	-0.19	-64.52	
85			愛西市日置町本郷 128	昭和 47 年	-1.1247	-0.02	-52.60	
86			愛西市内佐屋町郷 130	昭和 47 年	-1.3587	-0.10	-48.73	
87			愛西市佐屋町道西 40 番地	平成 7 年	-0.5295	-0.04	-65.33	
88			愛西市山路町小割 7 番	昭和 59 年	-0.8347	-0.24	-32.11	
89			愛西市森川町村仲 17 番地先	昭和 53 年	-1.0514	-0.43	-40.36	
90			愛西市森川町村仲 86	昭和 52 年	-0.3950	-0.61	-16.26	
91			愛西市立田町船頭平 42	昭和 52 年	-0.6725	-0.29	-15.49	
92			愛西市森川町大森 48-2	平成 5 年	0.0889	-0.39	-45.64	
93			愛西市須依町郷 534	昭和 47 年	-0.9254	-0.02	-50.92	
94			愛西市須依町屋敷 486	昭和 47 年	-1.1238	-0.03	-54.19	
95			愛西市西保町宮西 126	昭和 47 年	-0.9141	-0.10	-60.27	
96			愛西市須依町東田面 25	昭和 47 年	-1.9349	-0.02	-74.70	
97			愛西市稲葉町村南 128-1	—	-1.9336	-0.14	-85.98	
98			愛西市甘村井町西出割 49 番地	—	-1.2259	-0.14	-16.98	
99			愛西市東保町宮越 326	昭和 47 年	-0.6466	-0.10	-51.04	
100			愛西市西條町二町田 35	昭和 47 年	-1.3451	-0.15	-61.82	
101			愛西市東條町嘉江口 20	昭和 52 年	-2.0267	-0.27	-19.91	
102			愛西市東條町高田 42-3	昭和 52 年	-2.0350	-0.24	-18.97	
103			愛西市東條町高田 39-1	—	-2.1120	-0.33	-24.78	
104			愛西市本部田町宮ノ切 108-1	昭和 47 年	-1.6011	-0.44	-64.90	
105			愛西市大井町七川南 111	昭和 51 年	-2.2975	-0.48	-27.41	
106			愛西市大井町弥八 115	—	-2.2927	-0.56	-47.07	
107			愛西市鰯江町郷西 31	昭和 47 年	-1.9354	-0.48	-60.27	
108			—	—	—	—	-0.10	—
109			—	—	—	—	-0.20	—
110			—	—	—	—	-0.10	—
111			—	—	—	—	-0.20	—
112	—	—	—	—	-0.20	—		

表 4-1-64(4) 地盤沈下調査結果（令和 6 年度）

No.	県	市区 町村	所在地	累積 開始年	令和 6 年 標高(m)	年間変動量 (cm)	令和 6 年 累積変動量(cm)	
113	愛 知 県	弥 富 市	弥富市荷之上町柴ヶ森 472	昭和 47 年	-0.8933	-0.10	-60.09	
114			弥富市五之三町川平 156-1	昭和 47 年	-0.6761	-0.30	-68.59	
115			弥富市鯛浦町上巳 142	—	-1.2599	-0.36	-53.72	
116			弥富市鯛浦町南前新田 110	—	-1.3701	-0.26	-58.80	
117			弥富市前ヶ須町南本田 336-1	平成 14 年	-0.8238	-0.31	-17.50	
118			弥富市鍋平 1 丁目 59 番地	昭和 51 年	-2.1095	-0.36	-26.89	
119			弥富市六條町中切 4	—	-1.9517	-0.26	-74.78	
120			弥富市鮫ヶ地 2 丁目 88	昭和 47 年	-2.3792	-0.33	-62.93	
121			弥富市子宝 1 丁目 23	—	-1.5844	-0.36	-9.98	
122			弥富市西蜷 1 丁目 51-2	—	-1.7544	-0.29	-9.64	
123			弥富市神戸 2 丁目 12 番地先	昭和 47 年	-1.8836	-0.29	-59.08	
124			弥富市四郎兵衛 3 丁目 88 番地	—	1.4156	-0.34	-108.05	
125			弥富市神戸 7 丁目 30-4	—	-1.3150	-0.25	-150.20	
126			弥富市椋場 2 丁目 314	昭和 47 年	-1.6762	-0.21	-46.68	
127			弥富市椋場 2 丁目 38	平成 13 年	-1.5413	-0.28	-54.41	
128			弥富市稲吉 1 丁目 8	昭和 54 年	-1.1454	-0.26	-33.32	
129			弥富市稲荷 1 丁目 121	平成 14 年	1.4557	-0.53	-28.70	
130			弥富市三好 1 丁目 32	昭和 47 年	-0.2198	-0.42	-60.42	
131			弥富市狐地 7 丁目 159	昭和 61 年	-0.9884	-0.24	-40.41	
132			弥富市操出 2 丁目 134	昭和 47 年	-0.4562	-0.32	-21.75	
133			弥富市東末広町 5 丁目	昭和 47 年	1.4251	-0.22	-73.37	
134			弥富市鍋田町八穂 422 番地の 1	昭和 60 年	0.3471	0.19	1.32	
135			弥富市鍋田町八穂	平成 28 年	1.9026	0.05	-5.38	
136			—	—	—	—	-0.30	—
137			—	—	—	—	-0.50	—
138			—	—	—	—	-0.40	—
139			—	—	—	—	-0.30	—
140			—	—	—	—	-0.30	—
141			—	—	—	—	-0.30	—
142			—	—	—	—	-0.30	—
143			—	—	—	—	-0.30	—
144			—	—	—	—	-0.10	—
145			—	—	—	—	0.00	—
146			—	—	—	—	-0.20	—
147			—	—	—	—	-0.30	—
148			—	—	—	—	0.00	—
149			—	—	—	—	-0.30	—
150			—	—	—	—	-0.30	—
151			—	—	—	—	-0.10	—
152			—	—	—	—	-0.30	—
153			—	—	—	—	-0.40	—
154			—	—	—	—	-0.50	—
155			—	—	—	—	0.00	—
156			—	—	—	—	0.00	—
157			—	—	—	—	-0.10	—

表 4-1-64(5) 地盤沈下調査結果（令和 6 年度）

No.	県	市区町村	所在地	累積 開始年	令和 6 年 標高 (m)	年間変動量 (cm)	令和 6 年 累積変動量 (cm)	
158	愛知県	あま市	あま市蜂須賀新道 36-1	平成 25 年	0.2720	-0.03	-4.65	
159			あま市北荻上深坪 71	昭和 47 年	-0.3071	0.07	-22.03	
160			あま市木田戊亥 18	昭和 52 年	0.3189	-0.06	-14.83	
161			あま市木田宮東 16	平成 14 年	0.7239	0.06	-20.24	
162			あま市花正郷中 66	昭和 47 年	0.8064	0.04	-15.44	
163			あま市木田五反田 5 番地 58 号地先	昭和 50 年	-0.3550	0.08	-11.44	
164			あま市小橋方東境 453 の 1	昭和 47 年	-1.0887	0.07	-23.08	
165			あま市七宝町下田五之坪 1103 の 3 番地	昭和 47 年	-0.6855	0.06	-23.57	
166			あま市七宝町遠島十坪 119-3	昭和 50 年	-0.1080	-0.29	-10.71	
167			あま市七宝町安松小新田 2337	昭和 62 年	-0.1016	-0.36	-20.99	
168			あま市七宝町安松高御堂 2537-1 番地先	—	-0.1391	-0.41	-87.66	
169			あま市新居屋新町 6 番地	昭和 27 年	0.9095	0.19	-76.80	
170			あま市七宝町沖之島宮前 1040	昭和 47 年	-0.1612	0.21	-11.18	
171			あま市七宝町遠島大切戸 1296	昭和 56 年	0.1682	-0.20	-109.30	
172			あま市甚目寺二判田 76	昭和 52 年	1.9181	-0.14	-1.03	
173			あま市甚目寺東門前 24	昭和 47 年	1.0828	-0.04	-12.50	
174			あま市甚目寺須原 115	昭和 47 年	0.7966	-0.01	-7.80	
175			あま市中萱津西ノ川 40	昭和 53 年	2.1061	-0.15	0.28	
176			—	—	—	—	-0.10	—
177			蟹江町	海部郡蟹江町北新田 1 丁目 52 番地の 3	—	-1.5415	0.06	-4.02
178				海部郡蟹江町須成西 6 丁目 114 番地	昭和 62 年	-0.9208	-0.14	-22.75
179				海部郡蟹江町大字蟹江本町字クリ割 5 番地の 1	昭和 47 年	-0.7259	-0.09	-12.88
180				海部郡蟹江町大字蟹江新田字佐屋川西 47 番地	昭和 50 年	-1.2450	-0.31	-21.34
181				海部郡蟹江町源氏 3 丁目 147 番地	—	-1.2344	-0.54	-2.52
182				海部郡蟹江町学戸 3 丁目 1 番地	昭和 61 年	-0.9462	-0.23	-8.97
183				海部郡蟹江町大字蟹江新田字八反割 8 番地の 1	平成元年	-1.5699	-0.35	-50.31
184	海部郡蟹江町宝 2 丁目 597 番地先	昭和 47 年		-1.0377	-0.12	-27.28		
185	海部郡蟹江町大字新千秋字後西 50 番地	平成 20 年		-2.0179	-0.31	-24.02		
186	海部郡蟹江町大字蟹江新田字仲川原 16 番地の 4	昭和 47 年		-1.1293	-0.32	-58.83		
187	海部郡蟹江町舟入四丁目 2 番地先	昭和 47 年		2.3080	-0.31	-32.15		
188	—	—		—	—	-0.40	—	
189	飛島村	海部郡飛島村大宝 1 丁目 48	昭和 51 年	-1.5146	-0.37	-10.80		
190		海部郡飛島村大字三福二丁目 83	昭和 47 年	-1.1051	-0.29	-10.76		
191		海部郡飛島村大字大宝 6 丁目 85-2	平成 17 年	-0.8846	-0.41	-76.82		
192		海部郡飛島村元起 1 丁目 69 地先	—	-0.2756	-0.28	-32.62		
193		海部郡飛島村大字松之郷 1 丁目 41-1	平成 17 年	-0.9036	-0.32	-8.97		
194		海部郡飛島村大字松之郷八丁目 18	—	-1.1793	-0.23	-4.31		
195		海部郡飛島村大字梅之郷字宮東	昭和 62 年	3.5642	-0.25	-2.90		
196		海部郡飛島村大字政成新田字ハ之割 93 番地先	—	0.8082	-0.34	-69.63		
197		海部郡飛島村大字飛島新田番外地	平成 4 年	0.7786	-0.19	-73.65		
198		海部郡飛島村飛島新田番外地	昭和 50 年	0.0645	-0.30	-7.01		

表 4-1-64(6) 地盤沈下調査結果（令和 6 年度）

No.	県	市区町村	所在地	累積開始年	令和 6 年 標高(m)	年間変動量 (cm)	令和 6 年 累積変動量(cm)
199	愛知県	飛島村	海部郡飛島村大字飛島新田字梅之郷東ノ割 177 番地先	—	1. 2673	-0. 10	-36. 63
200			海部郡飛島村大字新政成四丁目 29	昭和 47 年	-1. 2740	-0. 14	-40. 57
201			—	—	—	-0. 30	—
202			—	—	—	-0. 30	—
203			—	—	—	-0. 40	—
204			—	—	—	-0. 40	—
205			—	—	—	-0. 50	—
206			—	—	—	-0. 10	—
207			—	—	—	0. 10	—
208			—	—	—	0. 50	—
209			—	—	—	0. 20	—
210			—	—	—	0. 00	—
211			—	—	—	0. 20	—
212			—	—	—	0. 30	—
213			—	—	—	0. 10	—
214			—	—	—	0. 00	—
215			—	—	—	-0. 20	—
216	—	—	—	-0. 20	—		
217	—	—	—	0. 00	—		
218	三重県	桑名市	—	—	—	-0. 20	—
219			—	—	—	-0. 10	—
220			—	—	—	-0. 20	—
221			—	—	—	-0. 10	—
222			桑名市太平町	昭和 37 年	—	-0. 38	-117. 27
223			—	—	—	-0. 10	—
224			—	—	—	-0. 30	—
225			—	—	—	-0. 20	—
226			—	—	—	-0. 30	—
227			—	—	—	-0. 50	—
228			—	—	—	-0. 30	—
229			—	—	—	-0. 30	—
230			—	—	—	-0. 20	—
231			—	—	—	-0. 10	—
232			—	—	—	-0. 20	—
233	桑名市長島町白鷄	昭和 36 年	—	-0. 23	-163. 94		
234	桑名市長島町浦安	昭和 37 年	—	-0. 33	-153. 94		
235	—	—	—	-0. 10	—		
236	—	—	—	-0. 50	—		
237	木曾岬町	—	—	—	—	-0. 30	—
238			—	—	—	-0. 20	—
239			—	—	—	-0. 10	—
240			—	—	—	-0. 40	—
241			木曾岬町近江島	昭和 36 年	—	-0. 41	-116. 04
242			木曾岬町源緑輪中	昭和 36 年	—	-0. 12	-124. 07

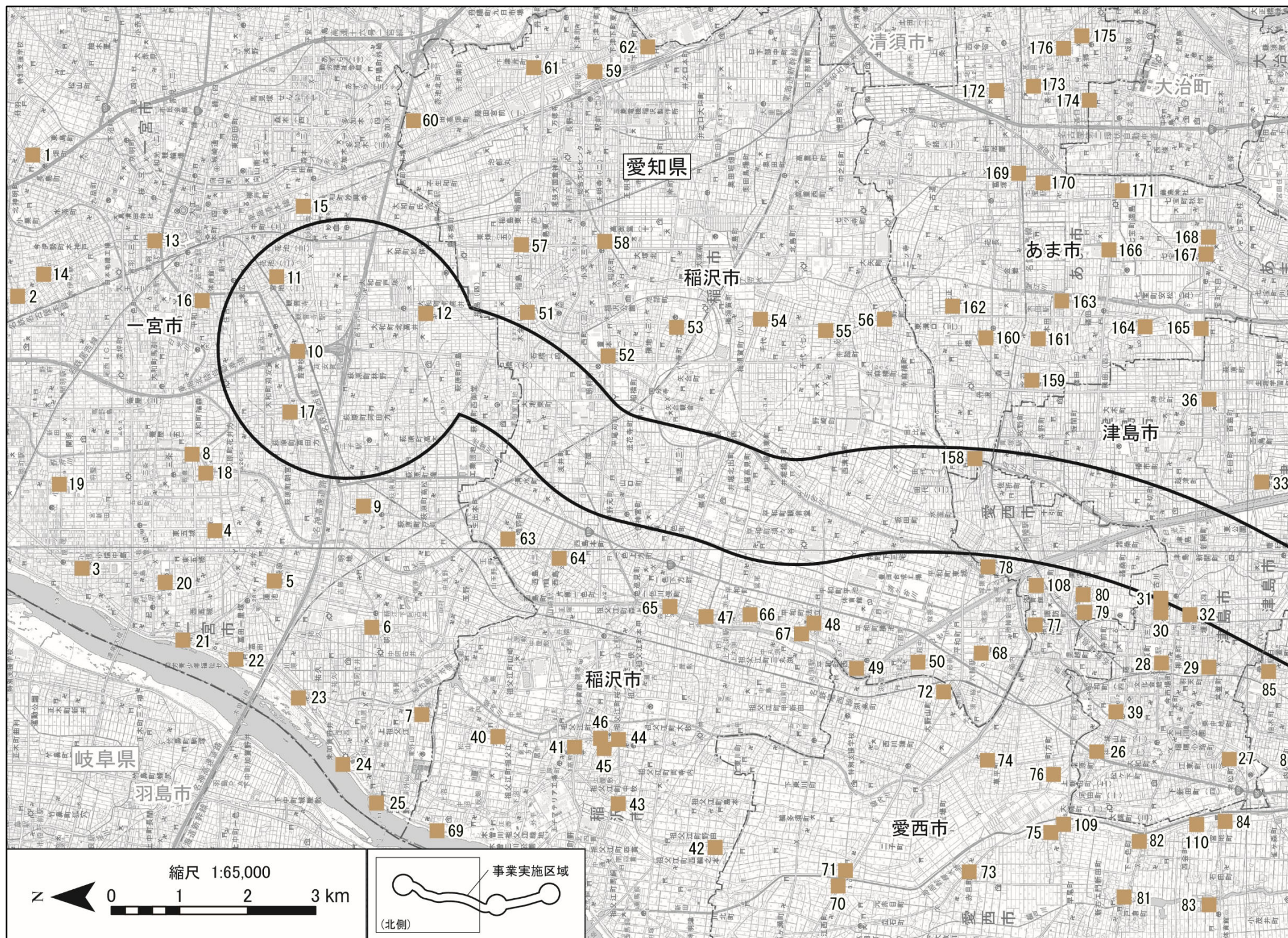
注1) 地点番号は図4-1-20に対応する。

注2) 「-」は出典元に掲載がないことを示す。

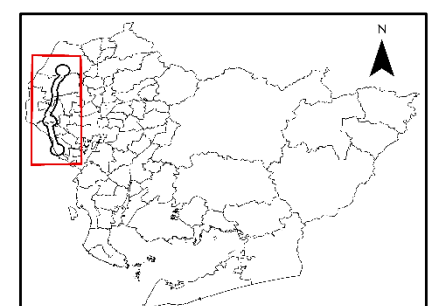
出典：「令和6年度濃尾平野地域地盤沈下等量線図」（令和7年9月、東海三県地盤沈下調査会）

「愛知県オープンデータカタログ（マップあいち公開データ）」（愛知県ホームページ）

「地盤沈下の状況」（三重県ホームページ）

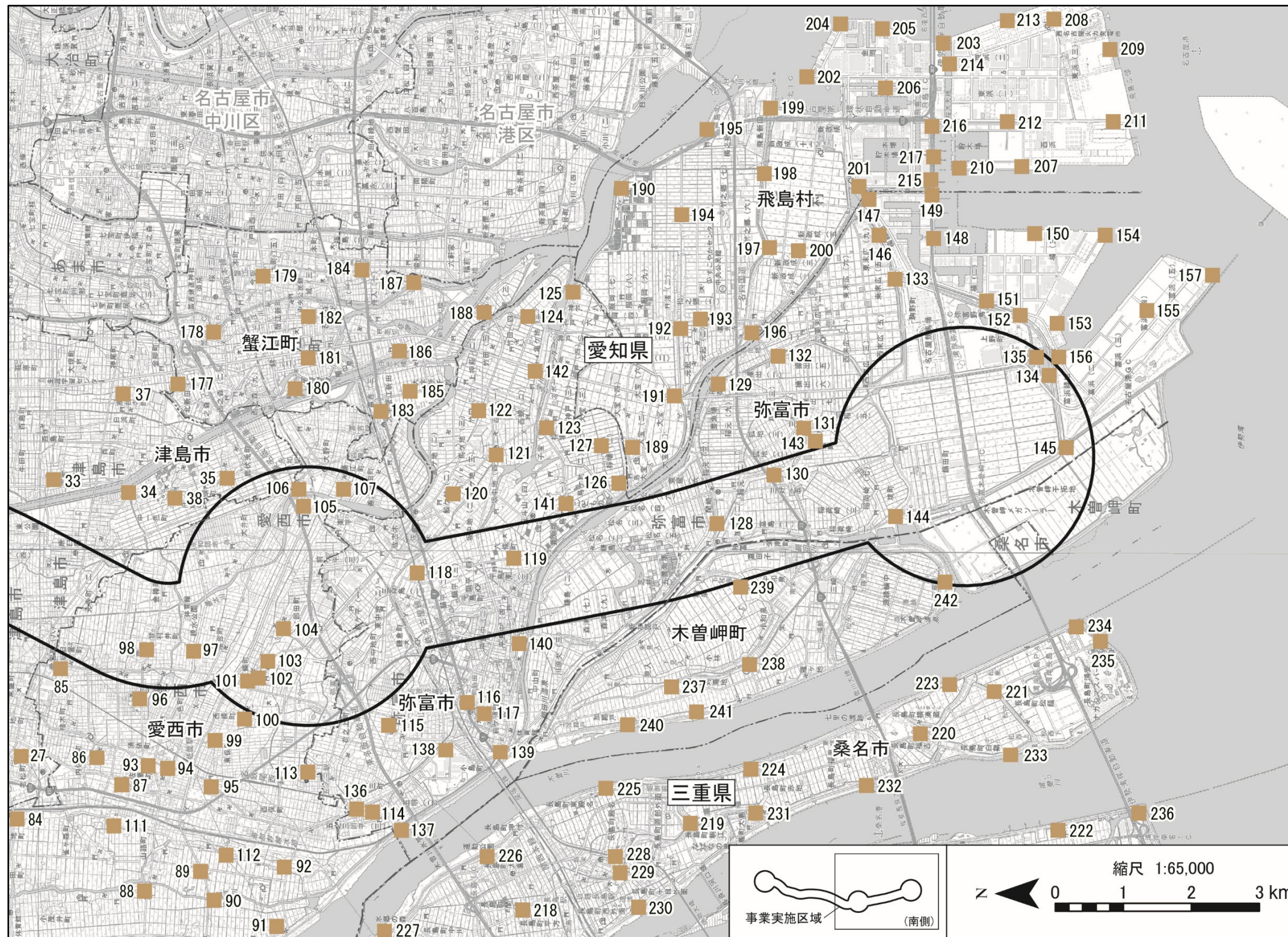


- 凡例
- 事業実施区域
  - 県界
  - 市町村界
  - 地盤沈下調査地点位置

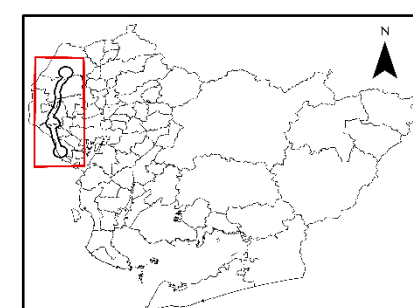


出典：「令和6年度濃尾平野地域地盤沈下等量線図」（令和7年9月、東海三県地盤沈下調査会）  
 「愛知県オープンデータカタログ（マップあいち公開データ）」（愛知県ホームページ）  
 「地盤沈下の状況」（三重県ホームページ）

図 4-1-20(1) 地盤沈下の調査地点位置図



- 凡例
- 事業実施区域
  - 県界
  - 市町村界
  - 地盤沈下調査地点位置



出典：「令和6年度濃尾平野地域地盤沈下等量線図」（令和7年9月、東海三県地盤沈下調査会）  
 「愛知県オープンデータカタログ（マップあいち公開データ）」（愛知県ホームページ）  
 「地盤沈下の状況」（三重県ホームページ）

図 4-1-20(2) 地盤沈下の調査地点位置図

## 5) 地下水位の状況

調査区域において過去 10 年間（平成 26 年度～令和 5 年度）に実施された地下水位調査結果は表 4-1-65 に示すとおりです。

6 地点で調査が行われており、自然水位は 1.65～7.60m となっています。

表 4-1-65 地下水位調査結果

No.	県	市	所在地	使用目的	地盤標高(m)	自然水位(m)	調査年月日
1	愛知県	一宮市	萩原町中島大上海道 9 番・10 番	その他	5.00	4.56	H31.9.12
2		稲沢市	片原一色町八枚物	工業用	2.80	2.20	H29.11.8
3			桜木 1 丁目	都市用	4.40	5.27	H27.5.8
4	三重県	木曾岬町	新輪	その他	-0.70	7.60	R2.12.8
4				その他	1.60	6.88	R2.12.18
6			大字三崎	工業用	-0.80	1.65	H28.8.7

注 1) 地下水位調査地点については、詳細な位置情報が公開されていないことから位置図は示していない。

注 2) 使用目的の「その他」は、生活用、都市用、工業用、農業用以外の使用目的を指す。

出典：「全国地下水資料台帳」（国土交通省国土政策局国土情報課ホームページ）

## 1.4 地形及び地質の状況

### 1) 地形及び地質の状況

調査区域における地形の状況は図 4-1-21 に、表層地質の状況は図 4-1-22 に示すとおりです。

調査区域は、木曾三川により形成された沖積平野である濃尾平野に位置しており、周辺には三角州性低地や自然堤防・砂州・砂丘が広範囲に広がっているほか、伊勢湾方向に干拓地が存在するなど、低地の地形が広がっています。

また、調査区域は、主に砂・泥を主とする層で形成されています。

### 2) 重要な地形及び地質の状況

重要な地形及び地質の状況は、表 4-1-66 及び図 4-1-23 に示すとおりです。

調査区域には、重要な地形及び地質として、木曾川の河畔砂丘と藤前干潟が存在しています。

表 4-1-66 重要な地形及び地質の状況

No.	名称	カテゴリー	選定基準	保存状況	保全状況	概要
1	木曾川の河畔砂丘	Ⅲ	①	ランク C	指定なし	日本では河畔砂丘が形成されることはほとんどないが、木曾川沿いにはいくつかの河畔砂丘が知られる。これらの河畔砂丘は、近世の河川改修で木曾川への堆砂量が急増し、それに伊吹おろしの強風が作用して形成されたものである。江西地区にはバルハン型の江西砂丘地形が保存されているほか、川原地区には祐久砂丘、里小牧地区には里小牧砂丘がある。
2	藤前干潟	V	③、④	ランク C、D	指定なし	庄内川の河口部にある干潟、濃尾平野の臨海部に唯一残された干潟（朝夕平野）であり、渡り鳥の大休息地になっているが、ゴミの埋め立て地として改変されようとしたことがあった。

注 1) カテゴリー

I：変動地形 II：火山地形 III：河川をつくる地形 IV：気候を反映した地形

V：海岸地形 VI：地質を反映した地形 VII：その他の重要な地形

注 2) 選定基準

①：日本の地形を代表する典型かつ希少、貴重な地形。

②：①に準じ、地形学の教育上重要な地形もしくは地形学の研究の進展に伴って新たに注目したほうがよいと考えられる地形。

③：多数存在するが、なかでも典型的な形態を示し、保存することが望ましい地形。

④：動物や植物の生育地として重要な地形。

注 3) 保存状況

A：現在の保存状況がよく、今後もその継続が求められる地形。

B：現時点で低強度の破壊を受けている地形。今後、破壊が継続されれば、消滅が危惧される。

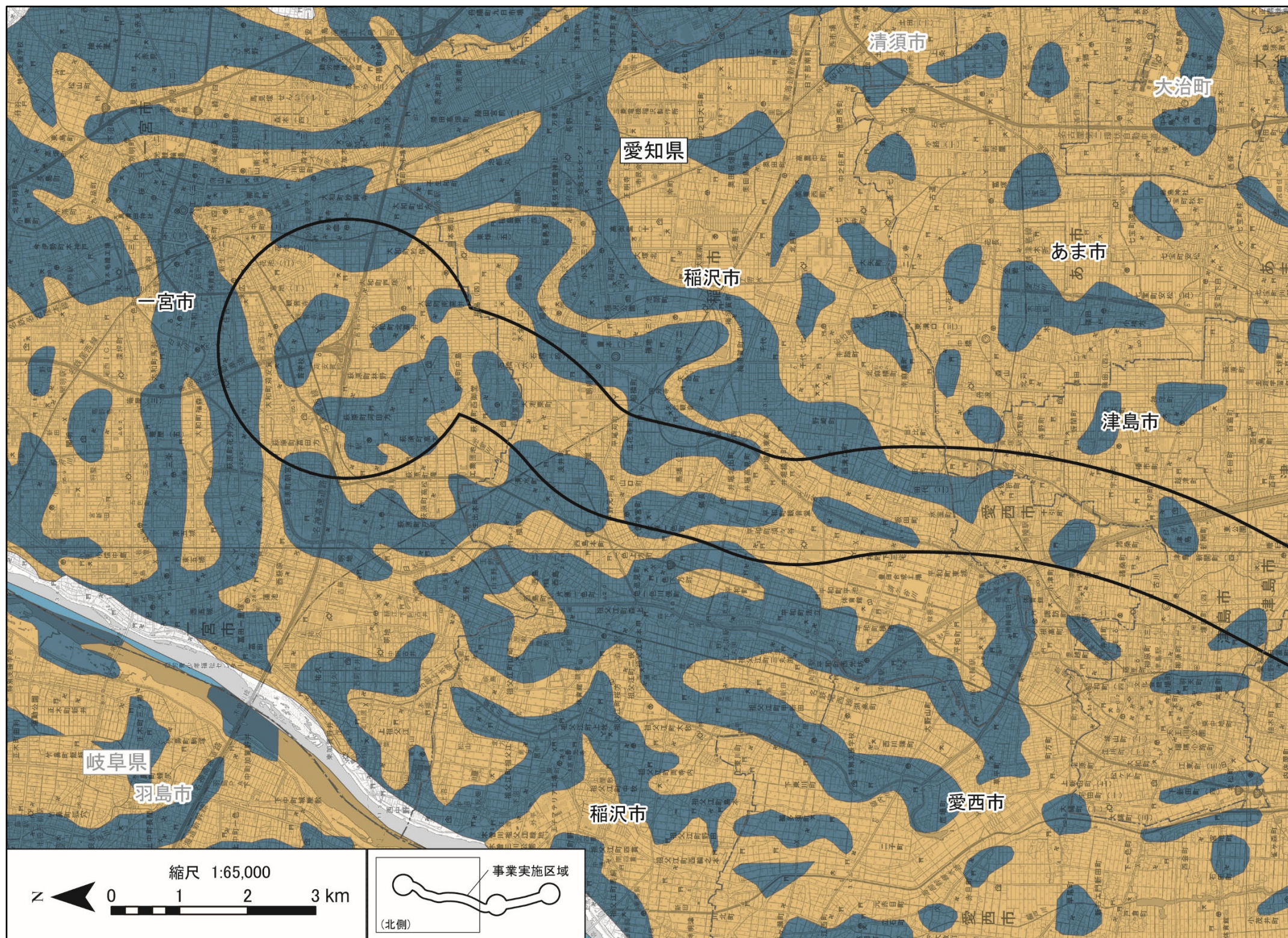
C：現在著しく破壊されつつある地形。また、大規模開発計画などで破壊が危惧される地形。このランクに属する地形は現状のままでは消滅すると考えられるので、最も緊急な保全が要求される。

D：重要な地形でありながら、すでに破壊され、現存しない地形。

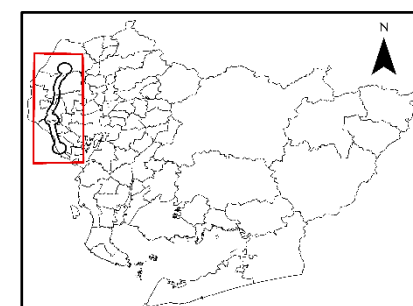
注 4) 保全状況

保護すべき地形、またはその地形が存在する地域が、行政機関などによって指定されている状態について記載

出典：「日本の地形レッドデータブック第 1 集－危機にある地形－」（平成 12 年 12 月、小泉武榮、青木賢人）



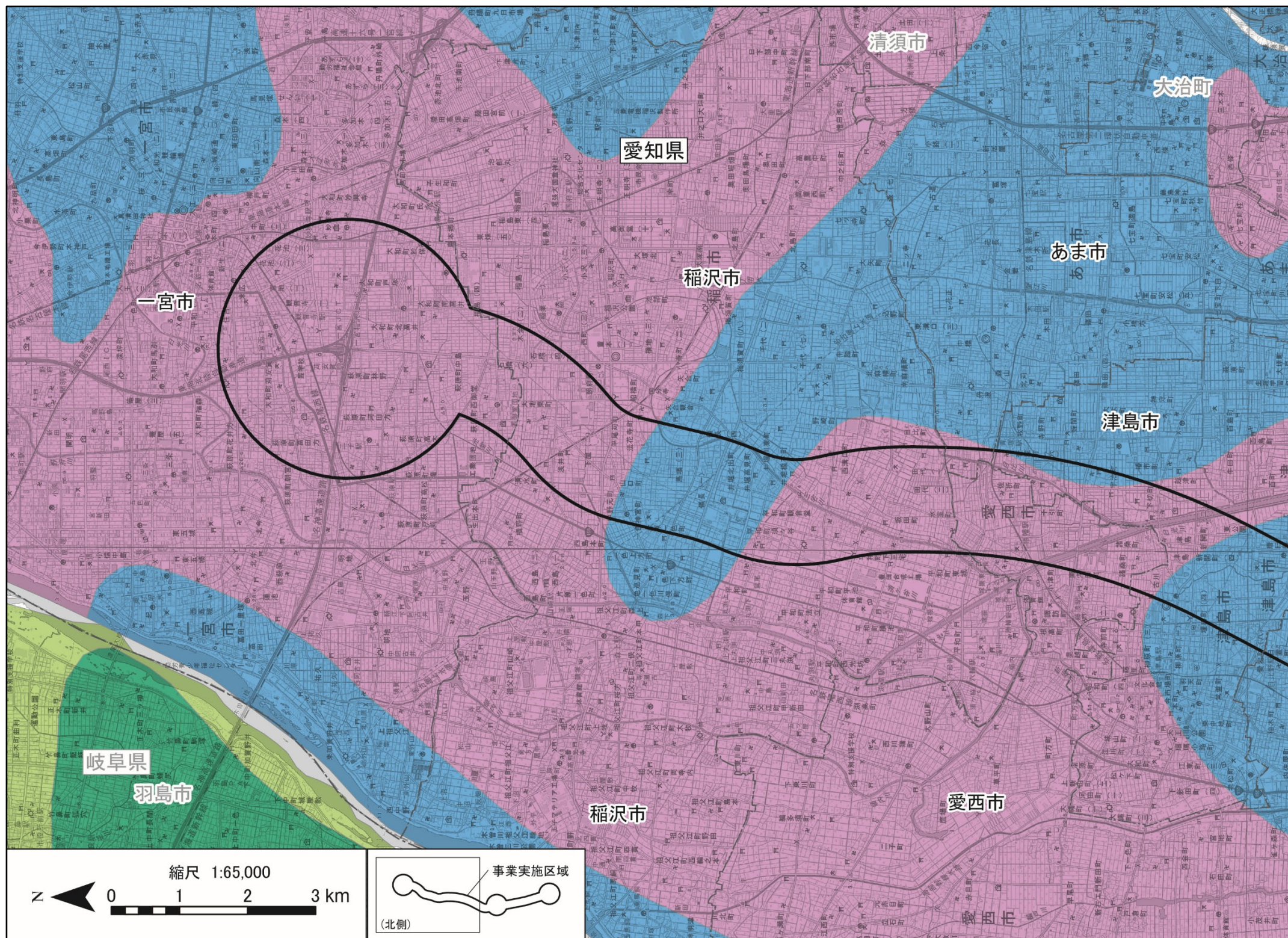
- 凡例
- 事業実施区域
  - 県界
  - 市町村界
- 低地
- 三角州性低地
  - 埋立地
  - 埋立地・盛土
  - 干拓地
  - 河川・湖沼
  - 自然堤防・砂州・砂丘



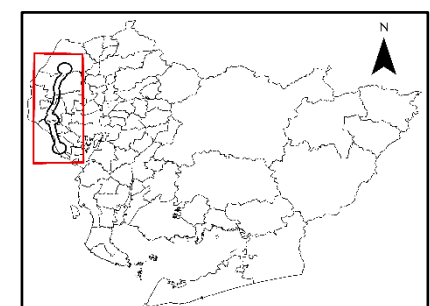
出典：「20万分の1土地分類基本調査（地形分類図） GISデータ」（国土交通省）(<https://nlftp.mlit.go.jp/>) を加工して作成

図 4-1-21(1) 地形分類図



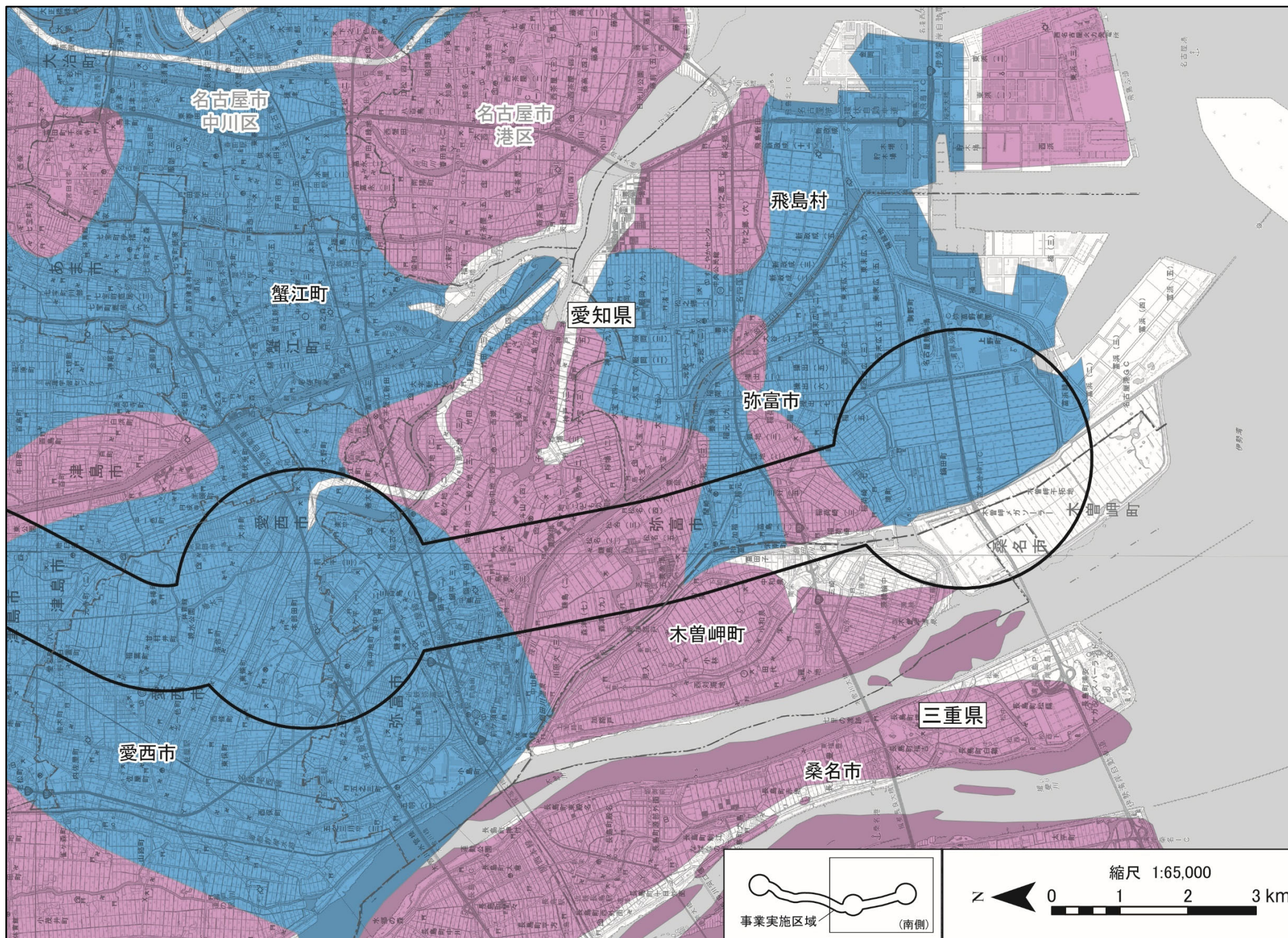


- 凡例
- 事業実施区域
  - 県界    - - - - - 市町村界
- 未固結
- 砂層を主とする地域
  - 泥層を主とする地域
  - 砂がち堆積物
  - 泥がち堆積物

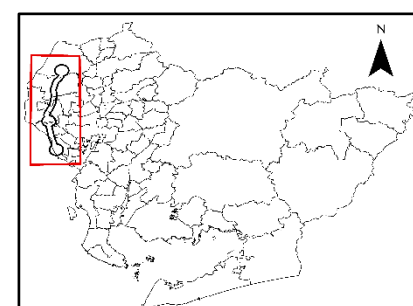


出典：「20万分の1土地分類基本調査（表層地質図） GISデータ」（国土交通省）(<https://nlftp.mlit.go.jp/>) を加工して作成

図 4-1-22(1) 表層地質図

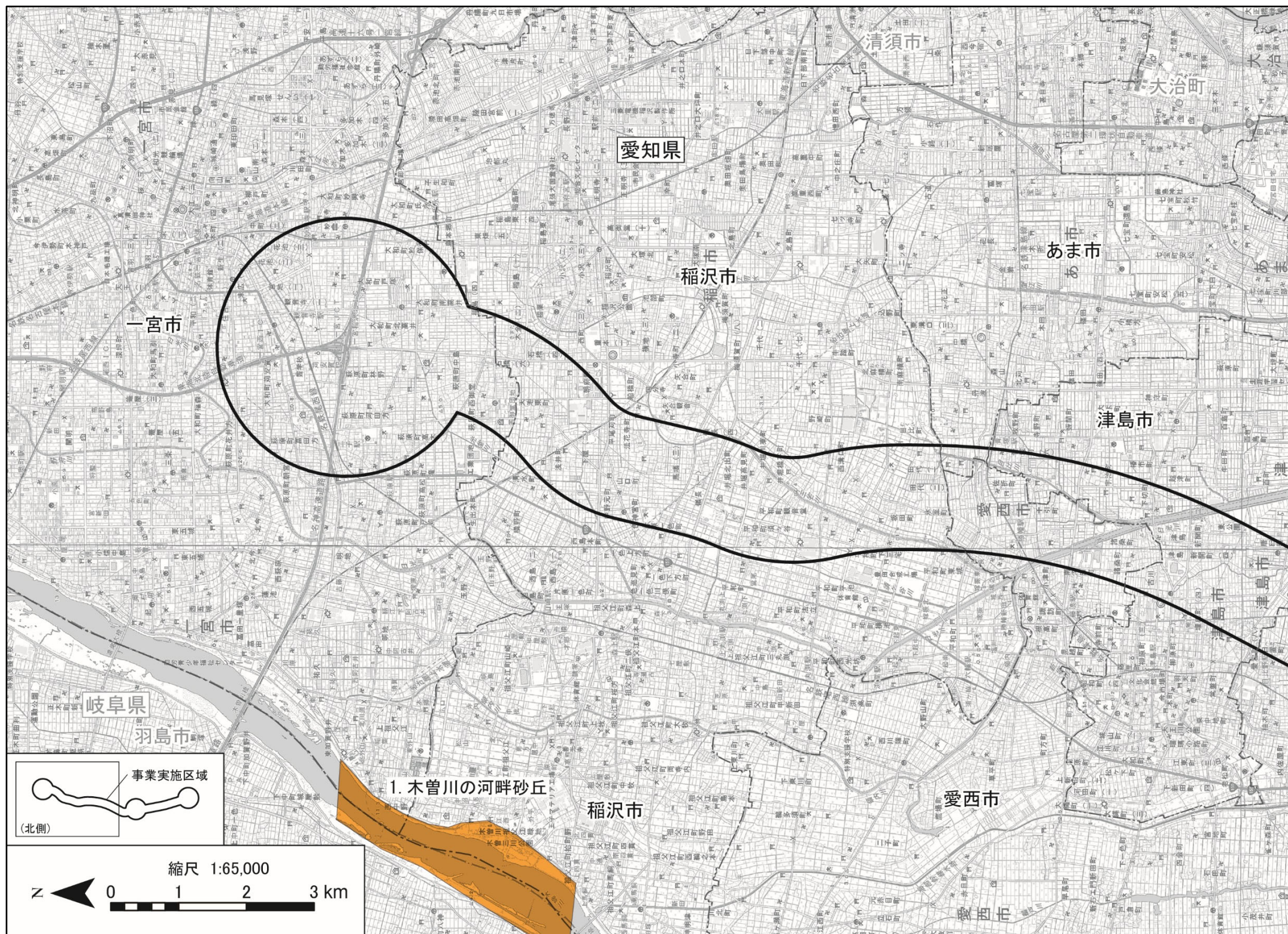






- 凡例
- 事業実施区域
  - 県界
  - 市町村界
- 未固結
- 砂層を主とする地域
  - 泥層を主とする地域
  - 砂がち堆積物
  - 泥がち堆積物

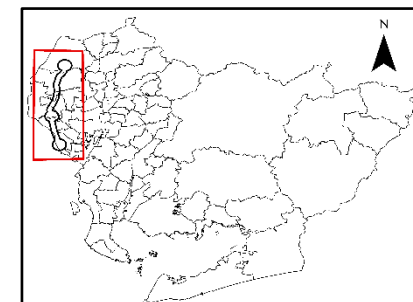


出典：「20万分の1土地分類基本調査（表層地質図） GISデータ」（国土交通省）(<https://nlftp.mlit.go.jp/>) を加工して作成

図 4-1-22(2) 表層地質図

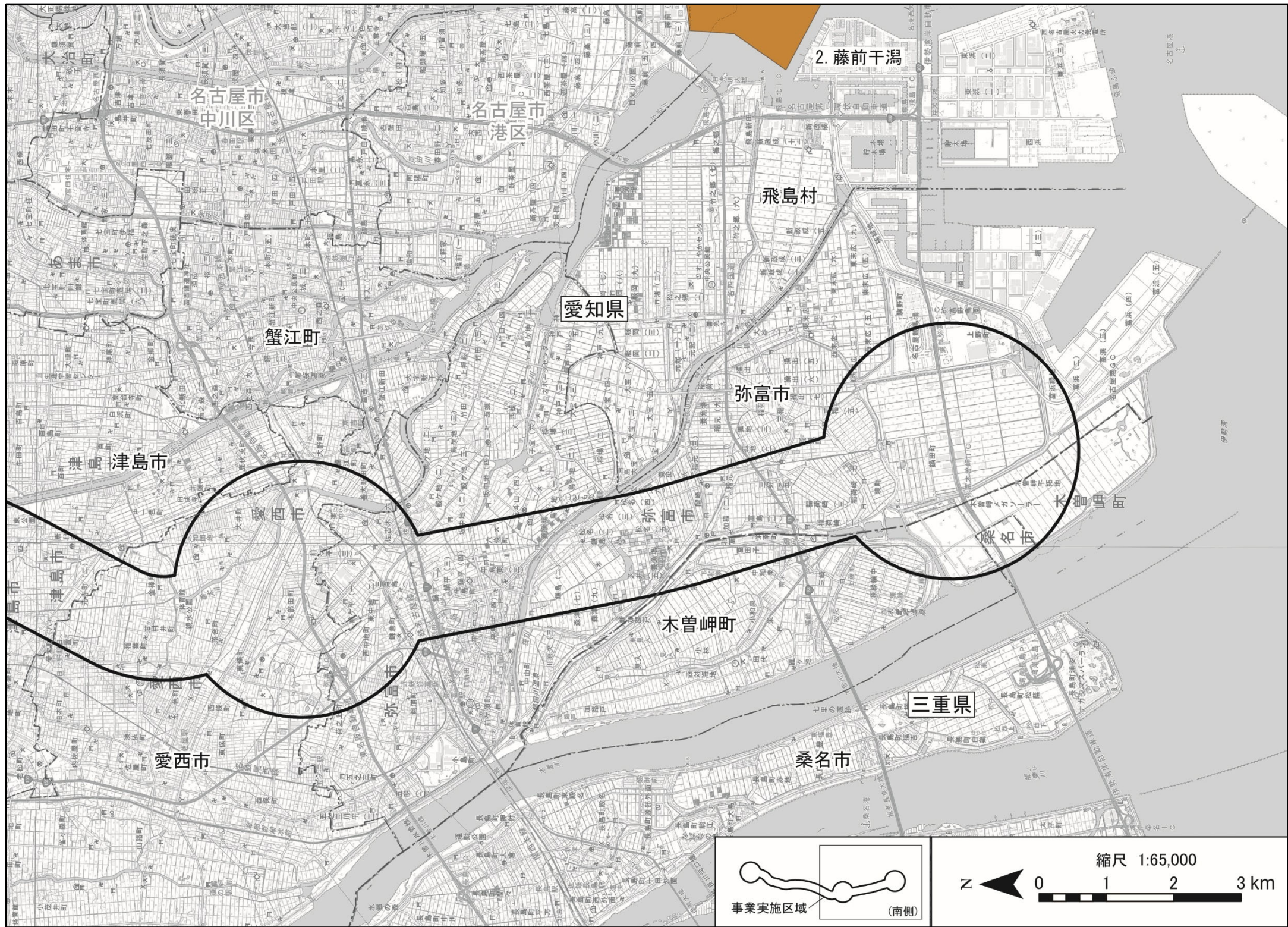






- 凡例
-  事業実施区域
  -  県界
  -  市町村界
  -  重要な地形

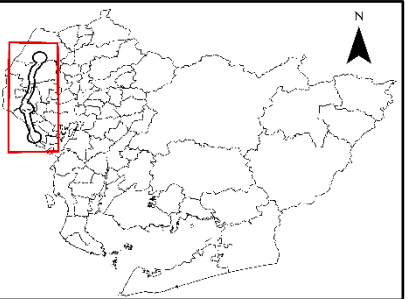


出典：「日本の地形レッドデータブック第1集－危機にある地形－」（平成12年12月、小泉武栄、青木賢人）

図 4-1-23(1) 重要な地形及び地質位置図



- 凡例
-  事業実施区域
  -  県界
  -  市町村界
  -  重要な地形



出典：「日本の地形レッドデータブック第1集－危機にある地形－」（平成12年12月、小泉武栄、青木賢人）

図 4-1-23(2) 重要な地形及び地質位置図